

所管委員会	総務教育常任委員会
所管課	政策デザイン課

## 案件名

長浜バイオ大学と地域の連携のあり方検討に関する報告について

## 内容

長浜バイオ大学(以下、「大学」という。)から「地域と時代の要求に呼応した長浜バイオ大学の包括的改革」(以下、「包括的改革」という。)の提案を受けたことを契機に、市内産業界や教育関係者等との懇話会や庁内検討会議を開催し、大学と地域の連携に関する「現状」と「求める姿」及び意見をふまえた課題整理を進めてきました。

懇話会等では、地域にとって大学は重要な存在であり、人材の育成、学術研究、産業や文化の振興をはじめ、若者を地域に呼び込む等の役割を期待する声がありました。

一方で、現在の大学と地域の連携は限定的であり、地域が求める大学との連携の実現に向けては多くの課題があると同時に、18歳人口の減少等、大学を取り巻く環境が厳しさを増す中、入学者の中長期的な確保等の経営の改善策についても検討を深める必要があります。

懇話会等での課題を踏まえ、地域が求める大学になるためには、包括的改革をより具体化する必要があると考えており、包括的改革(公立化を含む。)の検討を前に進め、その是非を判断していきたいと思えます。

大学は地域にとって必要な存在であり、産学官連携をはじめ、大学と市が連携を行う事項も多いことから、今後は、懇話会等で出された課題を共有しながら、より良い大学連携の手法について検討を進めます。

## ○検討が必要と考えられる事項

### 包括的改革後の大学経営に関するビジョンの明確化

- ・これまでの産学官連携についての検証や懇話会等で出された大学と地域の連携に関する課題に対する今後の具体策の明示
- ・大学が地域社会や学生に対し、どのような価値を提供するか(ビジョン)の明確化や、組織内での共有

### 包括的改革後の経営体制の検討

学生数の減少や経営状況の内部要因に関する分析

入学者確保に向けての対策の具体化

包括的改革後の経営シミュレーション等、客観的かつ詳細な資料の作成

包括的改革の実現性や合理性の明示ならびに市内への経済波及効果の分析

○懇話会等で出された大学と地域の連携に関する課題

研究成果の事業化(産学官連携の強化)

- ⇒インキュベーション機能の強化等による、各機関が連携し、スタートアップを継続的に生み出す仕組みの構築(スタートアップ・エコシステムの構築)
- ⇒地域課題を解決するための、イノベーションに資する研究開発の確立(地域課題からのバックキャスト型の研究開発)
- ⇒基礎研究を地域産業に結び付けるための学問領域の拡充

市内就職率の向上

- ⇒市内産業との親和性を高める学びの整備
- ⇒学生の受け皿となる産業の市内在地による就職先の確保
- ⇒奨学金制度やインターンシップ等の検討による、市内就職の促進

入学者の確保、市内進学率の向上

- ⇒学生に魅力的な大学であるための、学業レベルの確保や研究内容の充実
- ⇒大学での学びが社会でどのように活かせるか、学生や保護者にとってわかりやすい「学びの出口」の提示や広報の強化
- ⇒学生ニーズに沿った、学部学科の設置

市民が愛着を持つ大学への変化

- ⇒市民向けの講座の充実や学生と地域との協働活動の充実
- ⇒市民への大学の活動の周知
- ⇒社会人教育等の充実(リカレント教育やリスキリング)

# 大学と地域の連携のあり方に関する今後のスケジュール

